

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	全国スポーツ・レクリエーション大会開催事業	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和63年度	担当課室	スポーツ振興課	スポーツ振興課長 嶋倉 剛				
会計区分	一般会計	施策名	XII-2 生涯スポーツ社会の実現					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	スポーツ基本法第24条	関係する計画、通知等	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動への振興に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○種目別大会 年齢・体力に応じて誰でもが楽しく参加できるスポーツ・レクリエーション種目を行う。 ○特別行事 スポーツ・レクリエーション体験コーナーや開催県の魅力をアピールするコーナーなど、幼児から高齢者まで幅広い層が参加し楽しめる、各種交流の場を提供する。 補助率:定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	138	138	124			
		補正予算						
		繰越し等						
		計	138	138	124			
		執行額	138	138	124			
		執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	成人の週1回以上のスポーツ実施率 (内閣府の「体力・スポーツに関する世論調査」を基に推計)(22・23年度は調査せず)		成果実績	%	45.3			65
			達成度	%	70			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	大会への参加者数 (種目別大会・特別行事)		活動実績 (当初見込み)	人	99,509人	115,604人 (56,595人)	71,093人 (75,745人)	
単位当たりコスト	1,746(円/参加者)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:平成23年度補助額(124百万円) Y:平成23年度大会参加者(7.1万人)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
				平成23年度限りで廃止				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業は毎年、全国から10万人近い参加者が集まるスポーツ大会であり、国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	23年度の栃木大会について、開会式の簡素化等を図ることにより前年度より予算額を10%縮減する等、単位あたりコストの削減に努めている。 また、補助金交付決定及び補助額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っているところである。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当事業は、文部科学省が主催する唯一のスポーツ・レクリエーション大会であり、実行性の高い手段である。 23年度の栃木大会については、過去2年間よりも参加者数が下回ったが、依然、多くの参加者を集める大会となった。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	当事業は、文部科学省が主催する唯一のスポーツ・レクリエーション大会であり、毎年、全国から10万人近い参加者が集まるなど、国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。 しかしながら、開催県・市町村の事務的・財政的負担等も勘案し、大会開催の在り方の見直しが必要である。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—	この事業は、毎年全国から10万人近い参加者が集まるなど、国民のニーズがあり、有益な事業ではあるが、昨今の社会情勢等を踏まえ、廃止している。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
スポーツ基本法について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm スポーツ基本計画について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm スポーツ振興基本計画について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0357	平成23年行政事業レビュー	0349

※平成23年度実績を記入

文部科学省
124百万円

全国スポーツ・レクリエーション大会を開催する都道府県に
対して、開催に必要な経費を補助

【補助】

A. 栃木県
124百万円

- 開会式
- 種目別大会
年齢・体力に応じて誰でもが楽しく参加できるスポーツ・レクリエーション種目を行う。
- 特別行事
スポーツ・レクリエーション体験コーナーや開催県の魅力をアピールするコーナーなど、幼児から高齢者まで幅広い層が参加し楽しめる、各種交流の場を提供。
- 閉会式

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.栃木県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
宿泊輸送費	バス運行等に関する業務等	49			
種目交流費	大会準備、運営費等	37			
式典行事費	特別行事の運営業務等	33			
総務費	ガイドブック作成、無線運営業務等	5			
計		124	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 全国スポーツ・レクリエーション大会の開催

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	栃木県	全国スポーツ・レクリエーション大会の開催	124	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					